

様式2 輸出事業計画（品目：桃・ぶどう）

※申請者名：全農岡山県本部、JA岡山、JA晴れの国岡山

1. 輸出における現状と課題

【現状】

国内で高く評価されている桃・ぶどうについて、平成16年から本格的に海外輸出に取り組み、現地での交渉や試食宣伝等の販売促進活動を実施した結果、台湾、香港を中心に販路が開拓され、輸出金額も7.9億円に拡大している。

これらの品目は、国内と同様海外でも高級路線で通用することから、経済発展が著しく富裕層が多い次の国、地域を主なターゲットとして、高級百貨店等に向けて輸出を進めている。

- 台湾：中秋節等のギフトとして岡山県産が定着化。桃の検疫条件や残留農薬検査が厳しい。
- 香港：中秋節のギフトが盛ん。将来の中国への橋頭堡。治安悪化による政情不安の影響を懸念。
- シンガポール：近隣諸国のショーケース、富裕層のパーティー需要に期待。
- タイ：経済成長で日本産の輸入が急増も、検疫の強化や制度運用の不安定な点が障壁。

【令和元年度国別輸出金額（百万円）】

	桃	ぶどう	計
台湾	0.6	405.8	406.4
香港	22.8	332.5	355.2
シンガポール	1.2	24.5	25.8
タイ	0.4	6.7	7.0
その他	0.1	0.3	0.5
計	25.1	769.8	794.9



台湾航空会社とのコラボPR（台北市）

【課題】

上記の市場ニーズや規制等に対応するため、次の課題に取り組むこととした。

①生産

- ・生産条件の整備支援（桃、ぶどうの供給力の強化）
- ・検疫条件に対応した栽培・防除体系(使用農薬の変更)の確立
- ・検疫条件に対応したほ場及び選果場の確保・整備

②流通

- ・台湾や香港で需要の多い中秋節に向けたぶどうの安定出荷
- ・輸出期間の延長
- ・知的財産保護対策
- ・桃の海外輸送対策

③販売

- ・市場ニーズの変化の把握及び対応
- ・商流を拡大するための取組



出荷前の最終チェック（選果場内）

2. 輸出事業計画の取組内容

(1) 生産

- ・生産条件の整備支援
担い手の確保対策の推進、大規模園地整備、農地の集約化、省力化技術の導入を進めることで桃、ぶどうの供給力を強化する。
- ・検疫条件に対応した栽培・防除体系(使用農薬の変更)の確立
県内生産者を対象とした産地講習会や出荷会議等を通じて、輸出に対応した栽培・防除体系遵守の周知を図る。
- ・検疫条件に対応したほ場及び選果場の確保・整備
選果施設や園地登録の推進と条件遵守指導を行う。



大規模園地(吉備中央町)

(2) 流通

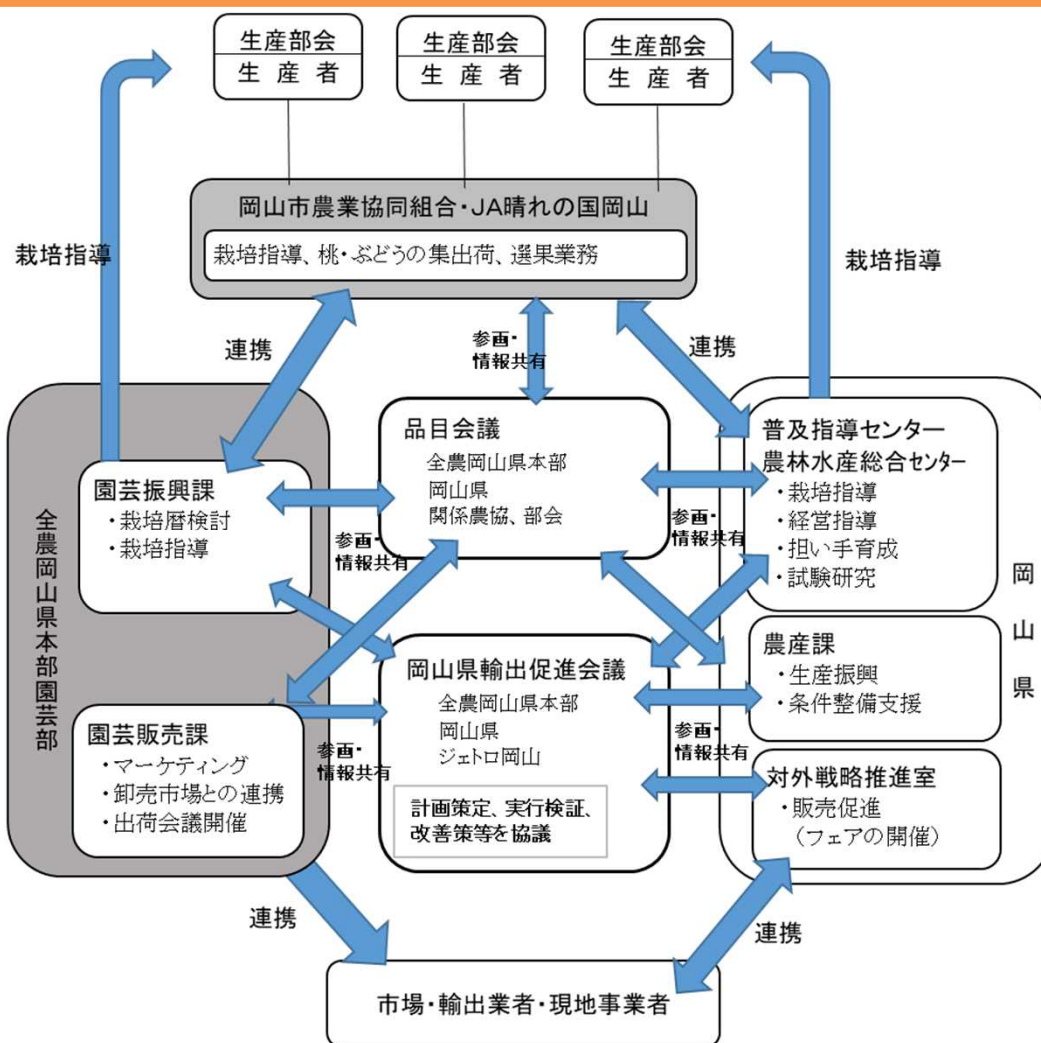
- ・台湾や香港で需要の多い中秋節に向けたぶどうの安定出荷
色彩選別機等の導入や目合わせ会等による選果レベルの向上、選果場の整備によるロットの拡大により品質向上対策と供給力強化を図る。
- ・輸出期間の延長
長期保存技術を活用した年末や春節需要に向けた輸出期間の延長や貯蔵施設の整備を進める。
- ・知的財産保護対策
海外での商標取得や知的財産の現地調査に基づく申請と保護対策を実施する。
- ・桃の海外輸送対策
傷みの発生を抑えるため、保護資材や梱包材の検討等を実施する。

(3) 販売

- ・市場ニーズの変化の把握及び対応
現地輸入業者と連携し、市場調査を実施するとともに、市場ニーズの変化に対応したP R等の効果検証、改善を図ることで、さらなるブランド化を進める。
- ・商流を拡大するための取組
現地輸入業者との意見交換および販売店舗でのP R活動を共同で実施し、現地輸入者との連携を強化する。また、海外でのE C市場の拡大を見据え、台湾や香港等のE Cサイトでテスト販売を実施し、その効果を検証する。

	R2年度				R3年度				R4年度				R5年度			
	4～5	6～10	11～12	1～3	4～5	6～10	11～12	1～3	4～5	6～10	11～12	1～3	4～5	6～10	11～12	1～3
GFP計画																
検討会議 (輸出促進会議)		開催		開催	開催			開催		開催				開催		
			立案 調整	承認 認定		調整	検証	改訂 認定		調整	調整	検証 改善		調整	調整	検証 改善
生産																
条件整備事業		事業実施		要望調査		事業実施		要望調査		事業実施		要望調査		事業実施		要望調査
防除体制構築	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善
選果体制整備 (検疫対応)	周知	講習		登録追加	周知	講習		登録追加	周知	講習		登録追加	周知	講習		登録追加
流通																
安定出荷対策	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善	周知	講習	検証	改善
選果場等整備			検討				計画作成				事業実施				事業実施	
出荷期間延長		計画	実証	検証		計画	実証	検証		事業実施	実証	検証		事業実施	実証	改善
知的財産保護		情報収集	対策検討	実行		情報収集	対策検討	実行		情報収集	対策検討	実行		情報収集	対策検討	実行
販売																
市場調査		調査実施		検証		調査実施	検証	改善		調査実施		検証		調査実施	検証	改善
商流拡大	意見交換	PR活動		検証	意見交換	PR活動	検証	改善	意見交換	PR活動		検証	意見交換	PR活動	検証	改善
予定輸出先国・地域	香港、台湾、シンガポール、タイ等				香港、台湾、シンガポール、タイ等				香港、台湾、シンガポール、タイ等				香港、台湾、シンガポール、タイ等			
目標輸出金額	桃:0.27億円、ぶどう:8.3億円				桃:0.29億円、ぶどう:8.9億円				桃:0.31億円、ぶどう:9.5億円				桃:0.33億円、ぶどう:10.2億円			

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【輸出品目：桃】

		現状 (令和元年度)	目標年 (令和6年度)
岡山県	輸出額	0.25億円	0.35億円
	輸出量	21.7t	29.6t
	輸出先国・地域	台湾、香港、シンガポール、タイ等	台湾、香港、シンガポール、タイ等
	取扱量	1,872t	1,843t

【輸出品目：ぶどう】

		現状 (令和元年度)	目標年 (令和6年度)
岡山県	輸出額	7.7億円	10.8億円
	輸出量	367.4t	598t
	輸出先国・地域	台湾、香港、シンガポール、タイ等	台湾、香港、シンガポール、タイ等
	取扱量	5,935t	6,021t